



今が公務員試験チャレンジのチャンスです

地方上級公務員採用試験が合格しやすくなっています。

下の表は2024年実施の神奈川県と東京都の地方上級試験の実施状況の一部です

自治体名		神奈川県庁		横浜市役所*				相模原市役所
合格者決定方法		リセット方式		総合得点方式				リセット方式
職種		行政一般	環境技術(化学)	行政職(一般)	行政職(春実施)	社会福祉	環境(化学)	行政職
筆記 1次試験	受験者数	614	10	1,018	1,363	207	12	361
	合格者数	574	10	729	296	197	7	260
	倍率	1.07倍	1倍	1.48倍	4.6倍	1.06倍	1.71倍	1.39倍
面接や論文 2次試験以降	受験者数	392	9	491	157	197	7	247
	最終合格者数	218	4	224	75	112	2	93
	倍率	1.80倍	2.25倍	2.19倍	2.09倍	1.76倍	3.5倍	2.66倍
最終倍率		2.82倍	2.05倍	4.54倍	18.17倍	1.85倍	6倍	3.88倍

自治体名		川崎市役所**		
合格者決定方法		総合得点方式		
職種		行政事務	土木	心理
受験者数		654	17	38
面談対象者		595	14	38
倍率		1.1倍	1.21倍	1倍
一次試験合格者		443	9	24
最終合格者		286	7	17
倍率		1.55倍	1.29倍	1.41倍
最終倍率		2.29倍	2.43倍	2.24倍

自治体名		東京都		特別区
合格者決定方法		総合得点方式		総合得点方式
職種		一般	新方式	行政職
筆記 1次試験	受験者数	1,413	489	6,868
	合格者数	未発表	未発表	6,323
	倍率	未発表	未発表	1.09倍
面接や論文 2次試験以降	受験者数	未発表	未発表	4,965
	最終合格者数	932	296	3,035
	倍率	未発表	未発表	1.64倍
最終倍率		1.52倍	1.65倍	2.26倍

*横浜市役所は2次試験の受験者数を公表していないため、計算は1次試験合格者を元に計算しています。

**川崎市は1次試験の筆記試験で一定の点数を取った人だけが面談試験へ進めます。
1次試験の結果は筆記試験と面談試験の各結果を総合して判定されま

解説 合格者決定方法（リセット方式、総合得点方式）について

総合得点方式とは1次試験から始まる試験の得点を全てカウントする試験です。ただし、その際に配点に修正が加えられることがあります。横浜市事務職の試験は1次、2次試験の配点は最終試験である3次試験である面接試験の10分の1程度になっています。

合格者決定方法のリセット方式とは1次試験等をクリアすれば点数がリセットされ、次の2次試験等では全員が0点から始める試験です。

